

＜また咲いた!＞ひと月ほど前に“ミズキ”が真っ白な花を足早に咲かせそして散り終えました。そのはずなのに俄かにミズキの白い花があちこちで咲き出しました。「二度咲き!」と驚いたのですが調べてみると今咲いているのは“クマノミズキ”です。ミズキにそっくりで生えている所も近いのですが花も実もクマノミズキはミズキにおおよそ一月遅れるようです。



＜クマノミズキ＞

＜気ままな賑わい＞クマノミズキの白に対し道路わきの植え込みはホンアジサイの大きな青やピンクの花で賑わっています。アジサイは植わっている場所がほんの少し違うだけで花色が異なりますね。また咲く時期や咲き始めてからの日時でも変化します。「紫陽花や己が気ままの絞り染(一茶)」です。一方、ビオトープでは控え目な“ヤマアジサイ”の青が綺麗です。



＜ヤマアジサイ＞

＜控え目に＞ヤマアジサイよりもっと控え目に咲く花を4つばかり紹介します。ひとつは“イチヤクソウ”です。春からの賑わいが嘘のような緑のモノ

トーンの下生えで2株ばかり見つけました。柄はウドンコ病に罹っていますが白くて雌蕊に特徴のある可愛い花を付けています。もう一つはキャンパスから出て丘の道脇で見つけた“トキワツユクサ”の花です。濃い緑の中に径1cmほどの小さな真っ白の花を咲かせています。三つめは小さな薄紫の花を付けている“ムラサキシキブ”で今年は沢山の実を付けそうです。最後はよく注意しないと見過ごしてしまう“ウメモドキ”です。葉裏に隠れるように小さな薄赤の花を咲かせています。残念なことに雄株のため秋口の赤い実は期待できません。



＜イチヤクソウ＞



＜トキワツユクサ＞



＜ムラサキシキブ＞



＜ウメモドキ＞

＜憩いの場＞ビオトープの池では春先から瞬く間にハンゲショウやコウホネなどの植物が



大きく育ち小さな動物の憩いや狩りの場となっています。コウホネの葉では“シュレーゲルアオガエル”（左写真）が瞑想の境地にあり、ハンゲショウの葉では“カナヘビ”（右写真）



が獲物を窺がっている様子です。

(文と写真：松本正勝)